

**令和4年度**

# いちき串木野市

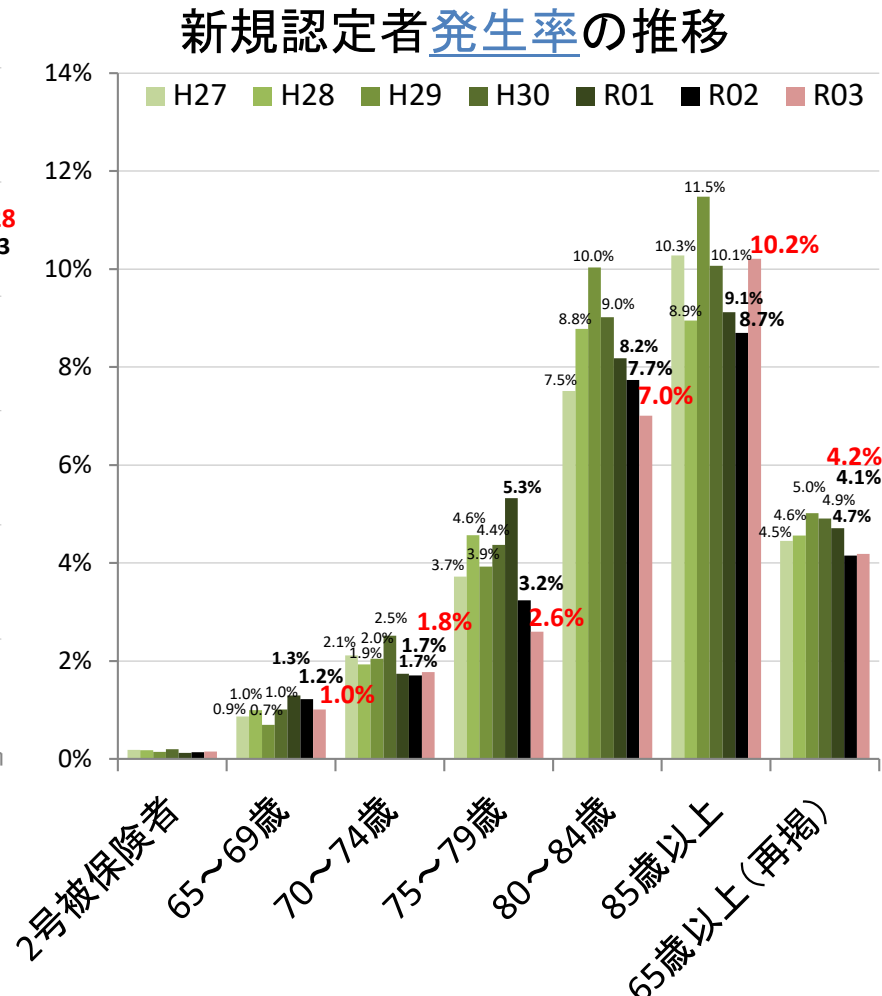
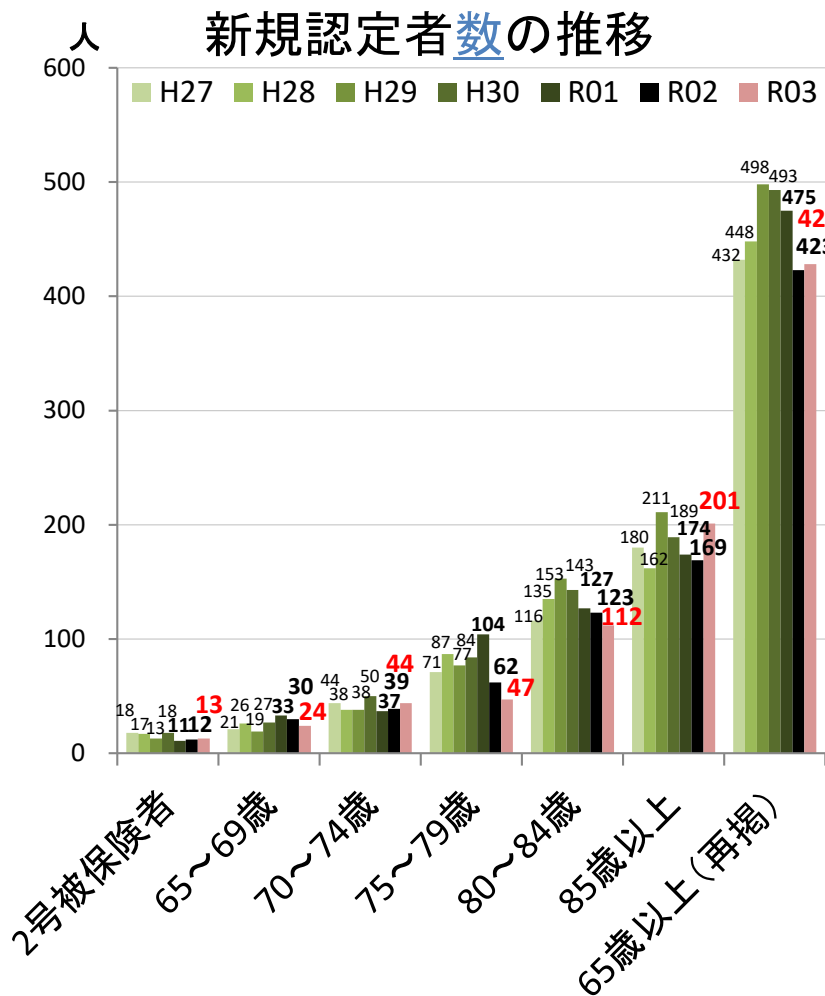
介護給付等分析報告書 概要版

**分析年度（平成27～令和3年度）**

株式会社 くまもと健康支援研究所

# 新規認定者発生者数・発生率の推移

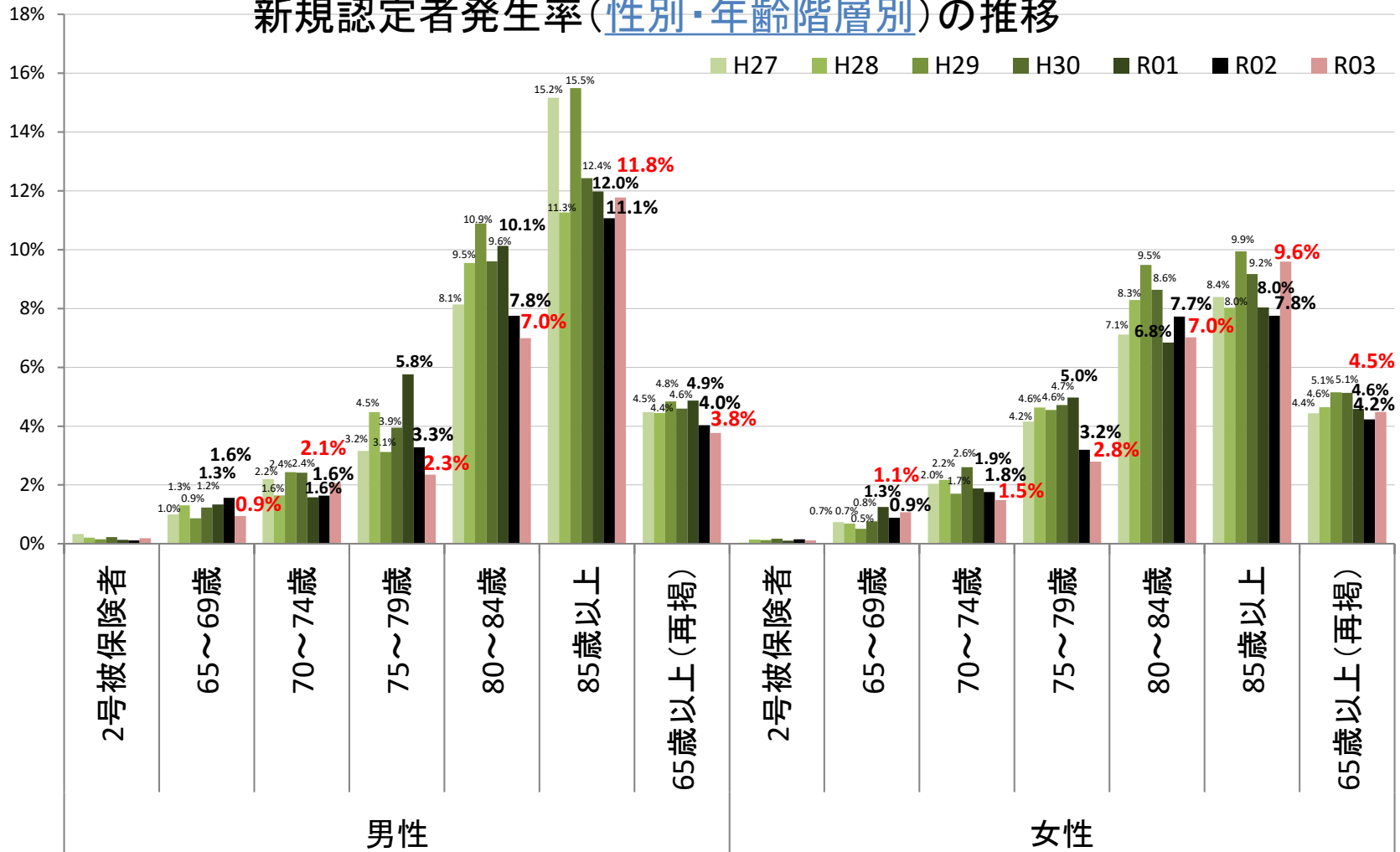
- 令和3年度の新規認定者数は**428人**、新規認定者発生率は**4.2%**であった。
- 年齢別にみると、**75歳を境に新規認定者の発生率の増加傾向が加速**する傾向があり、75歳時点でMCIやフレイルを早期発見し、要介護認定に至らないような早期介入が求められる。



# 新規認定者 性別年齢階層別発生率の推移

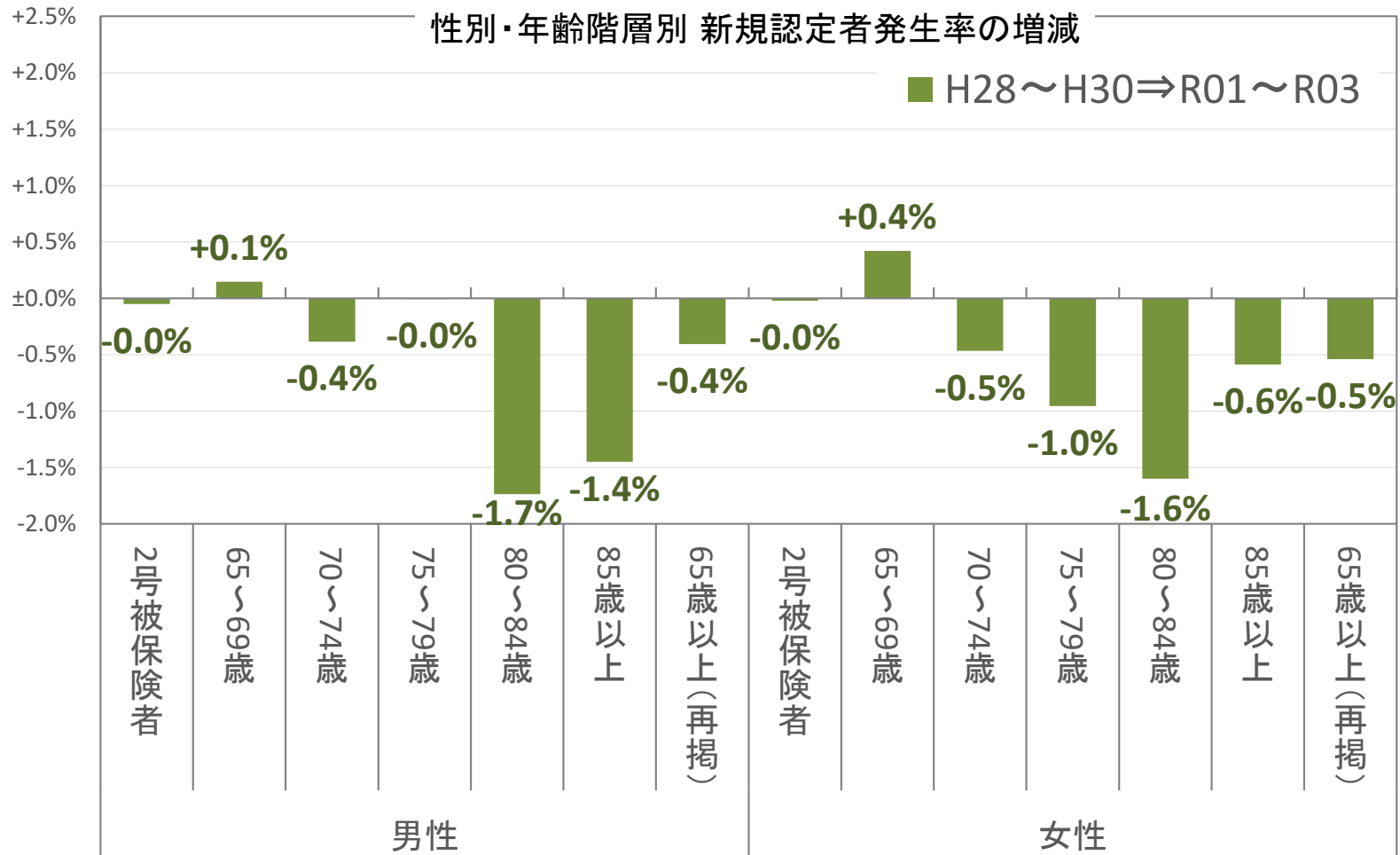
- 令和3年度、男性は75～84歳の年齢層において前年度より減少がみられ、85歳以上の年齢層では前年度より増加がみられた。
- 女性は70～84歳の年齢層において前年度より減少、85歳以上の年齢層では大幅な増加がみられた。

## 新規認定者発生率(性別・年齢階層別)の推移



# 新規認定者 性別年齢階層別発生率の増減 (3ヶ年度単位推移)

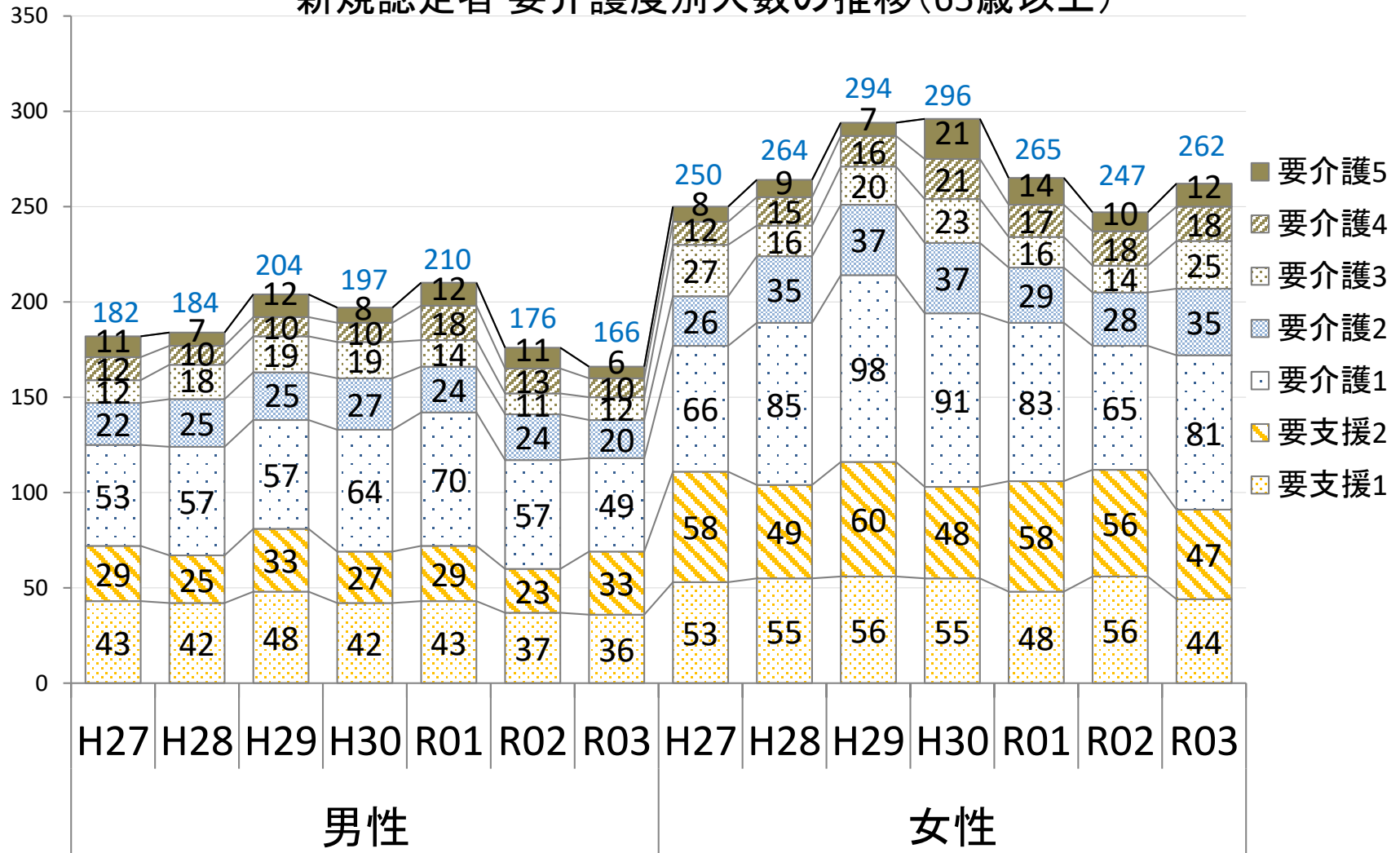
- ・ H28～30年度とR01～R03年度の3ヶ年度ごとにまとめ、性別・年齢階層別新規認定者発生率の増減をみると、  
男性は、70～74歳、80歳以上の年齢層において減少した。
- ・ 女性は、70歳以上の年齢層では減少したが、65～69歳でやや増加している。



# 新規認定者 要介護度別発生状況 (65歳以上)

- ・男性と女性いずれも、**要支援1～要介護1**の新規認定者数が大半を占める。
- ・男性は要支援2以外の介護度において令和元年度以降減少傾向がみられる。
- ・女性は要介護1以上の介護度において平成30年度以降減少傾向にあったが、令和3年度は増加に転じた。

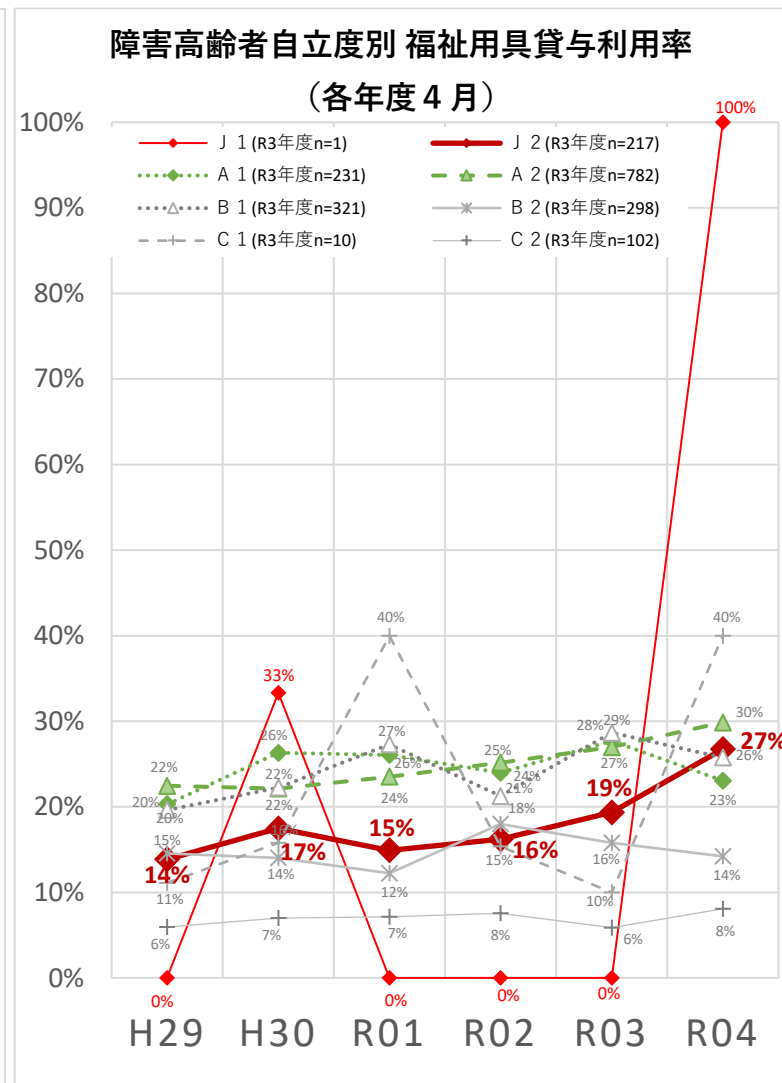
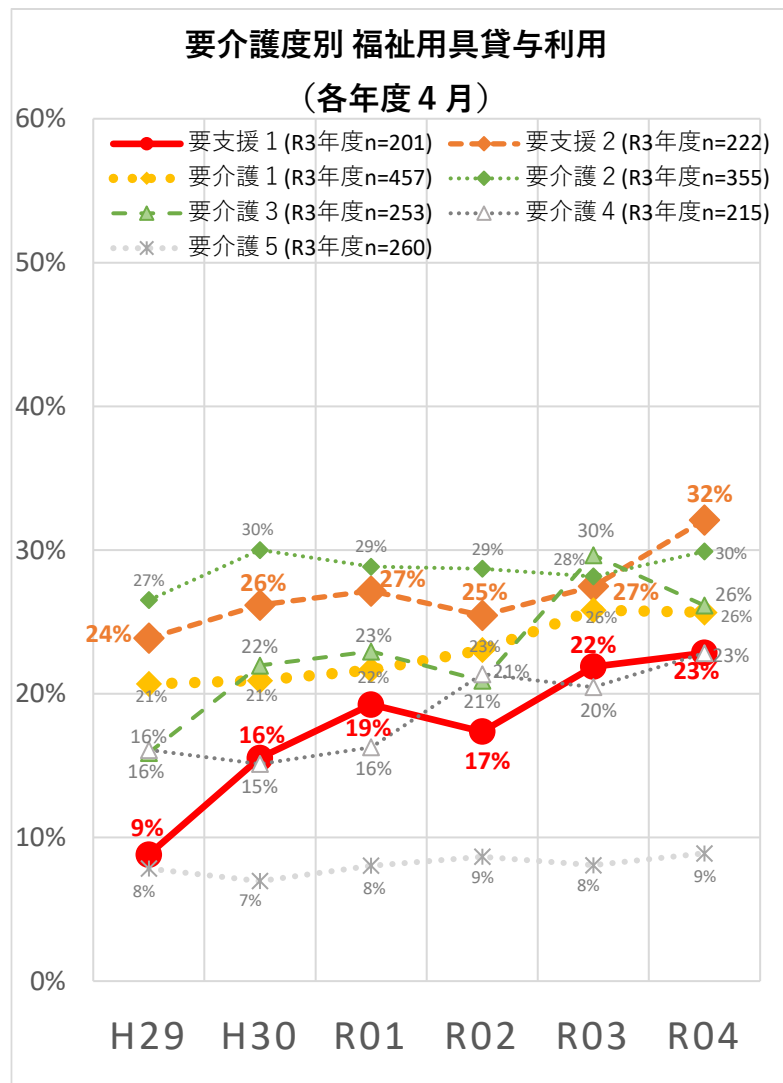
## 新規認定者 要介護度別人数の推移(65歳以上)



# 介護度別・障害高齢者自立度別福祉用具貸与利用

※このページのみ、分析対象は、新規認定者に限定されない各年度4月時点の認定者

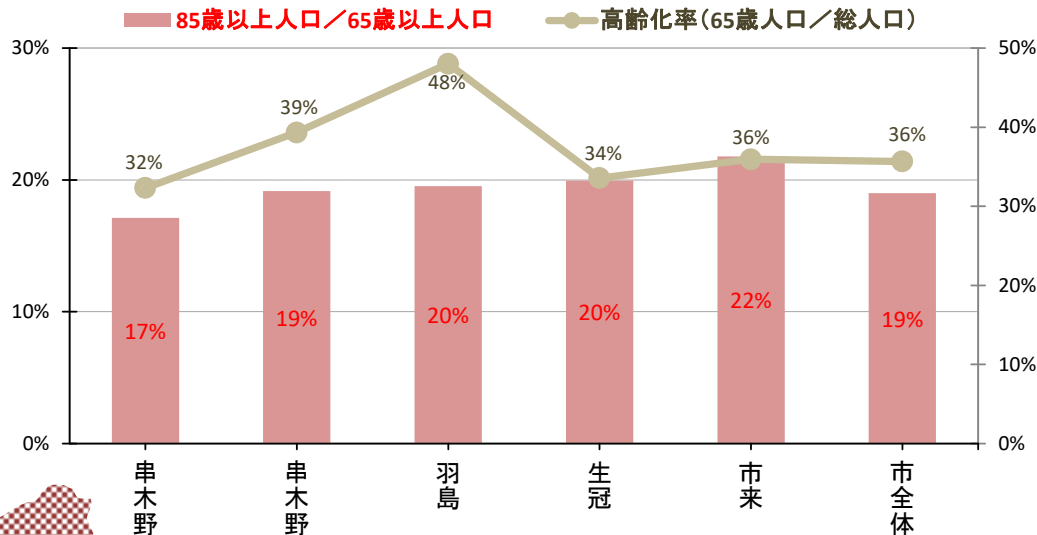
- ・（新規認定者に限定されない）認定者の令和4年4月の福祉用具貸与利用率は、**要支援1では23%、要支援2は32%**であり、いずれも増加傾向にある。
  - ・障害高齢者自立度J2の認定者では、令和4年4月は27%の利用率であり、増加傾向にある。
- ※下記グラフのJ1、C1については、対象者数が少ないため、評価、判断の材料とすることは難しい。



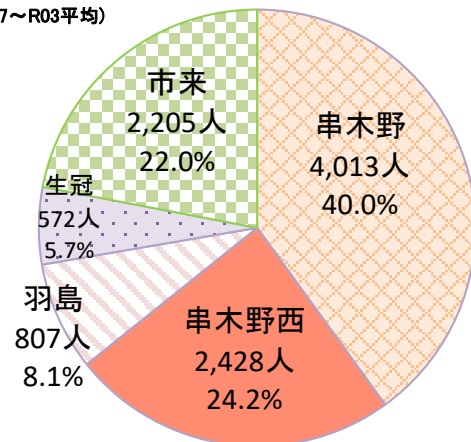
## 地区

- 85歳以上人口が占める割合が他地域よりも高い地区は、認定率が高めに出る傾向がある。
- 市来は、この割合がかなり高めである。
- 各地域を、年齢構成の差を排除して比較するためには、「年齢調整済認定率」を用いる必要がある。

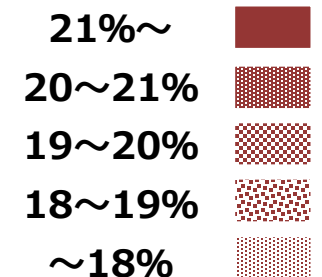
各地区の高齢化率と85歳人口の占める割合(H27~R03平均)



各地区の65歳人口(H27~R03平均)



85歳以上人口が  
高齢者人口に占める割合

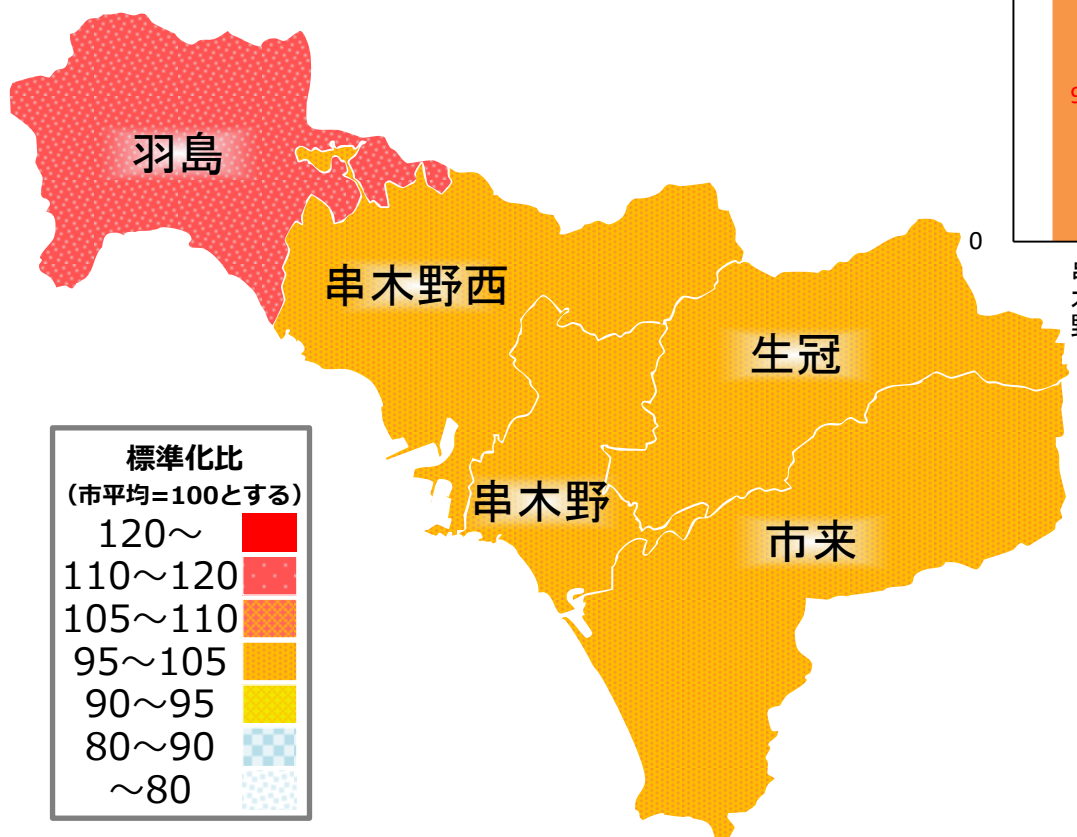
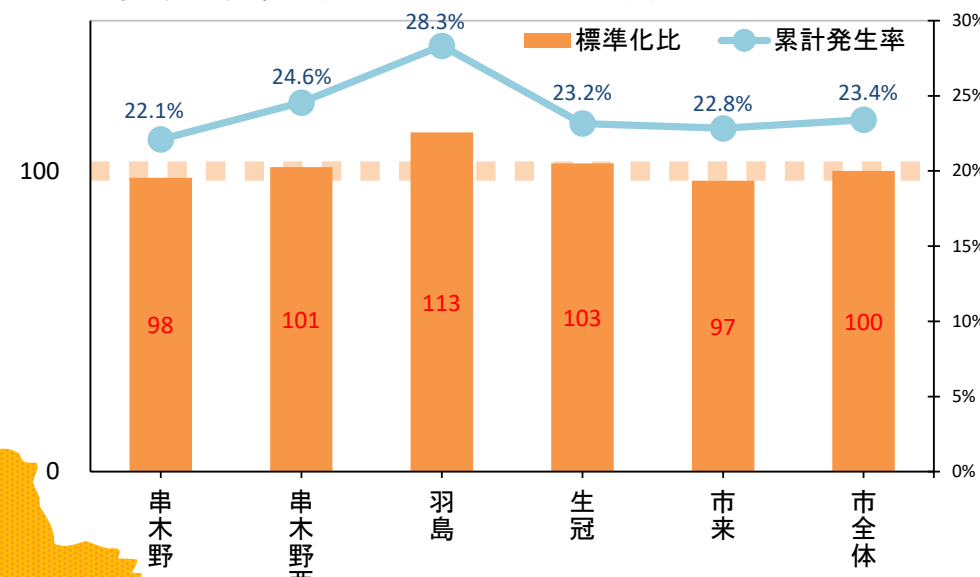


# 地域別 新規認定発生状況分析 (65~84歳)

地区

・年齢調整済み新規認定率では、<sup>はしま</sup>羽島が高く、他の地区間では大きな差はなかった。

標準化新規認定者発生比(65~84歳、H27~R03累計)



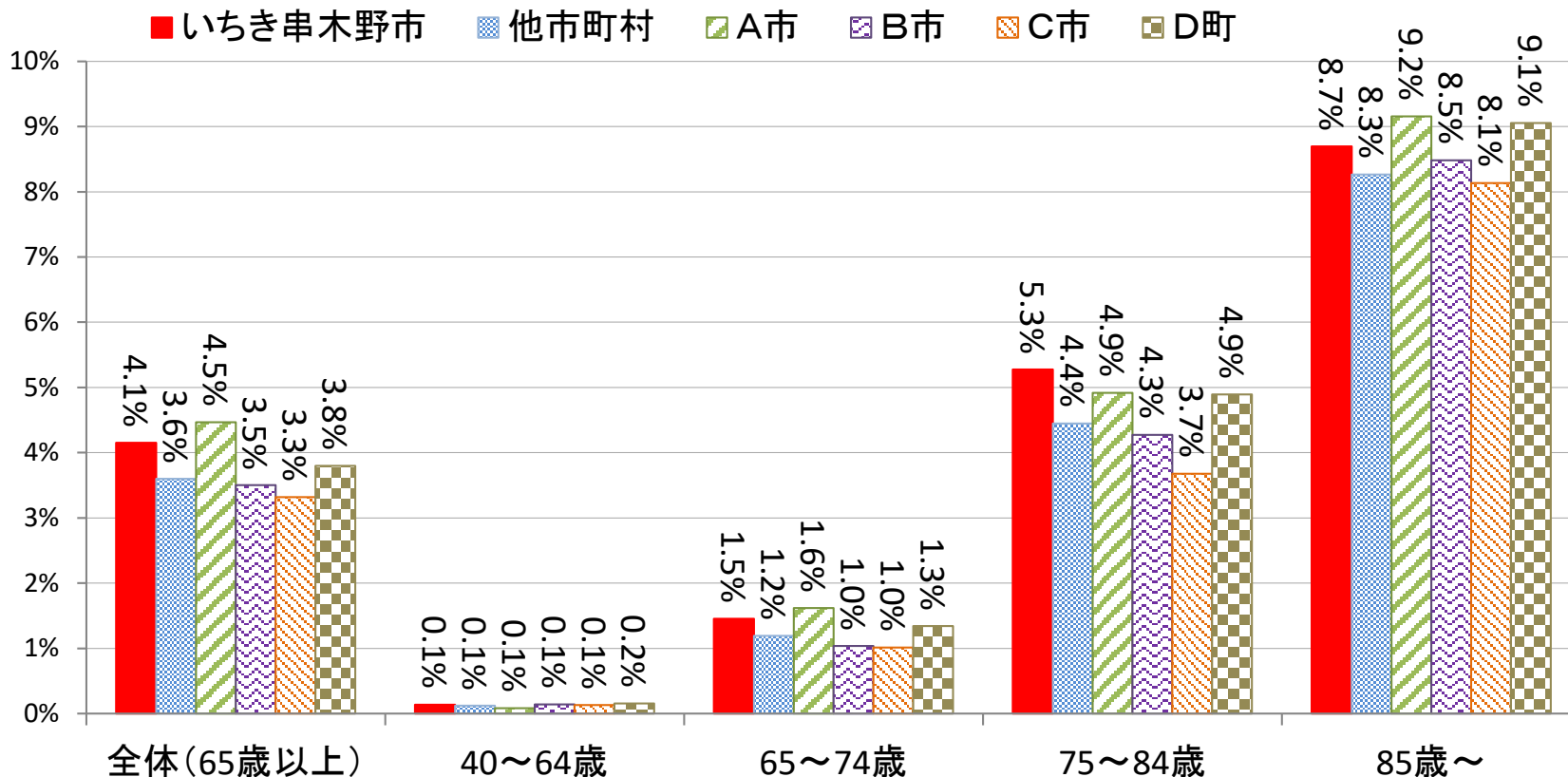
※標準化比：市全体を100とした場合の各地域の比率



# 年齢階層別 新規認定者発生率の保険者比較

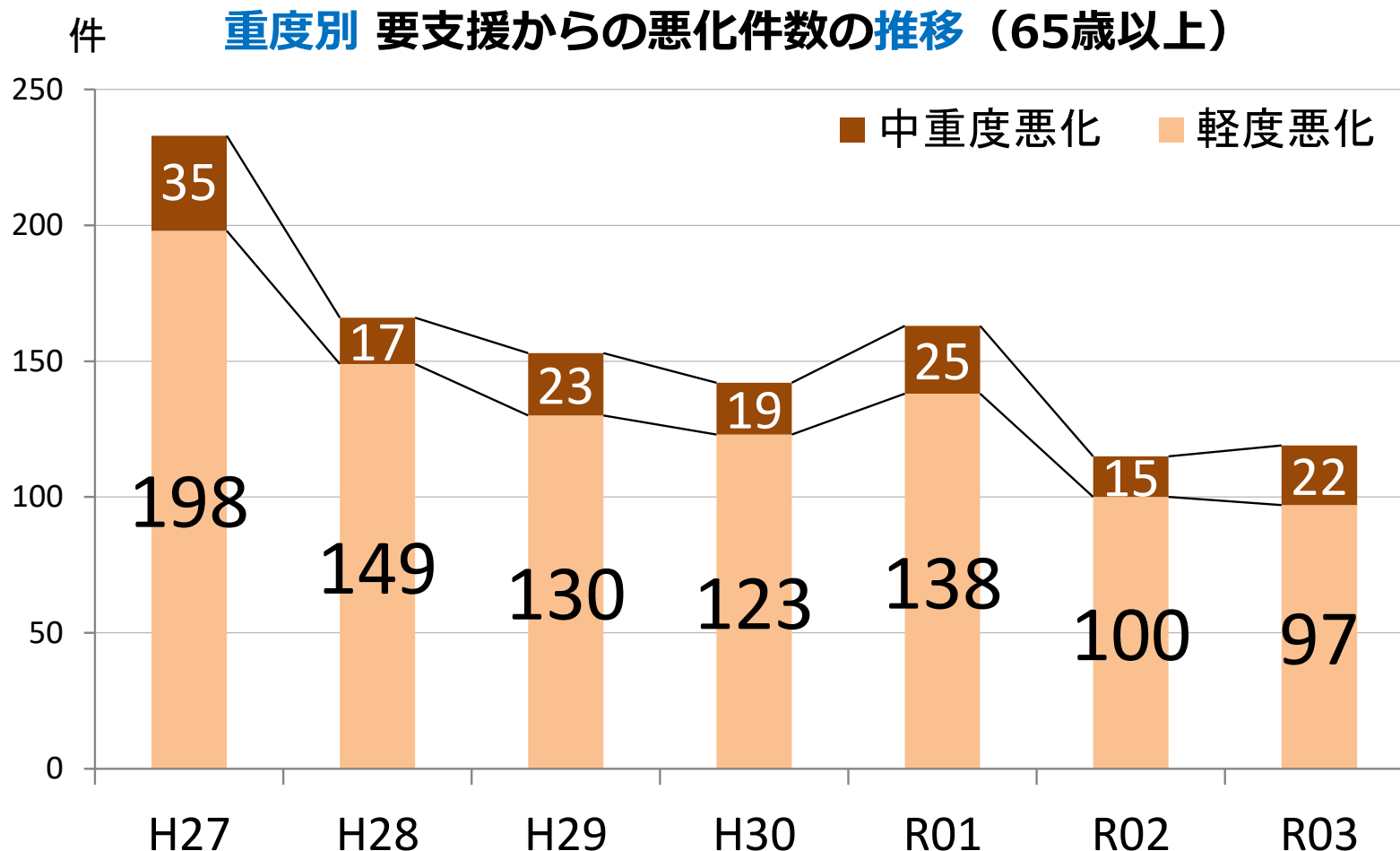
- 弊社データベースで比較した年齢階層別新規認定者発生率で見ると、いちき串木野市は65歳以上のすべての年齢層において他市町村平均より高い。

## 年齢階層別 新規認定者発生率保険者比較 (令和2年度)



# 要支援からの介護度悪化件数の推移（65歳以上）

- ・令和3年度の軽度悪化は97件、中重度悪化は22件であった。
- ・軽度悪化の件数は、令和元年度に一度増加したが経年的に減少傾向にある。

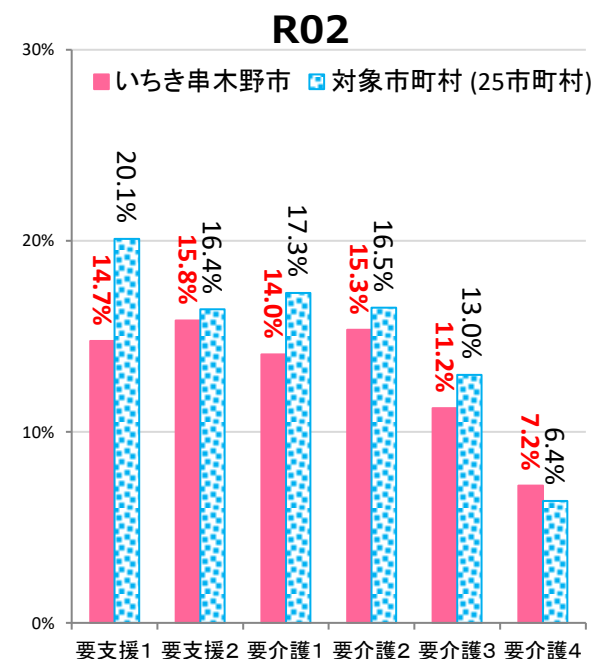
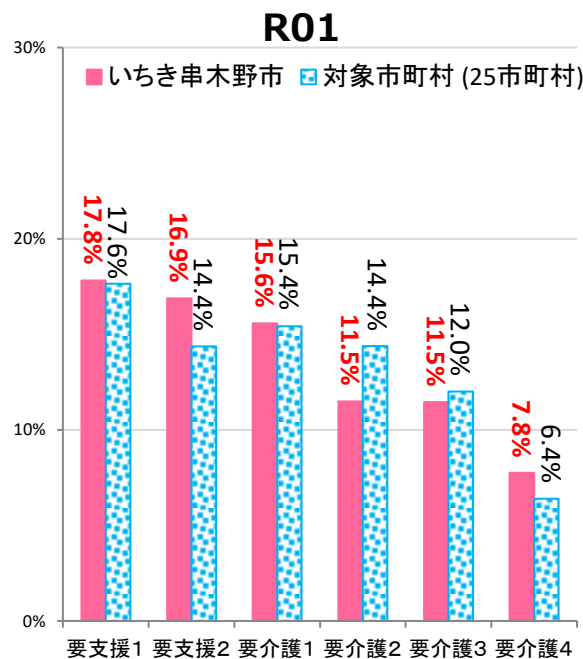
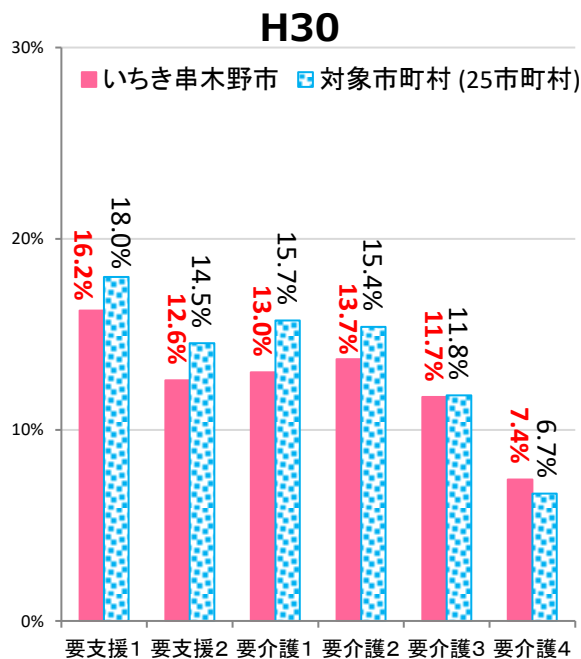


	被保険者番号	〇〇年4月1日 介護度		翌年4月1日 介護度	
Aさん	1000000001	要介護 <b>2</b>	⇒	要介護 <b>3</b>	 <b>悪化（重度化）</b>
Bさん	1000000003	要介護 <b>2</b>	⇒	要介護 <b>2</b>	 <b>維持</b>
Cさん	1000000007	要介護 <b>2</b>	⇒	要介護 <b>1</b>	 <b>改善（軽度化）</b>
...	...	...		...	

- ・被保険者ごとに、各年度の4月1日時点の介護度を比較
- ・介護度が上がっていたら「**悪化（重度化）**」、下がっていたら「**改善（軽度化）**」、変化がなければ「**維持**」

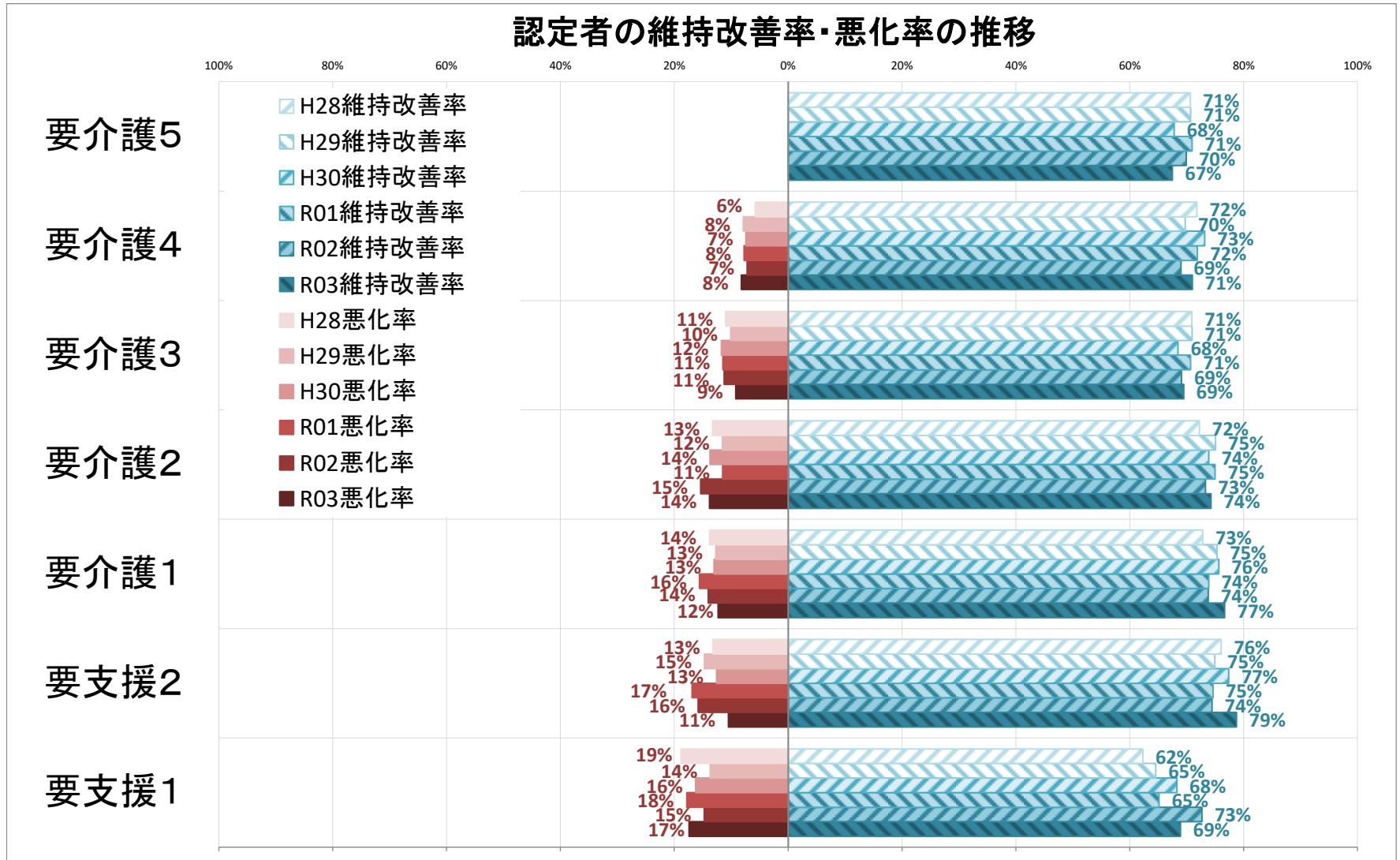
# 認定者の要介護度の変化（保険者比較・全年齢）

- 弊社データベースによる悪化率を認定期間で補正して保険者比較したところ、いちき串木野市は、おおむね参加市町村平均と同程度または低いが、要介護4において、3ヶ年度とも参加市町村平均よりも高かった。



# 認定者の要介護度の変化の推移（全年齢）

- 令和3年度、要支援2～要介護1において前年度より維持改善率の増加、悪化率の減少傾向がみられた。要支援1においては、維持改善率の減少、悪化率の増加がみられた。



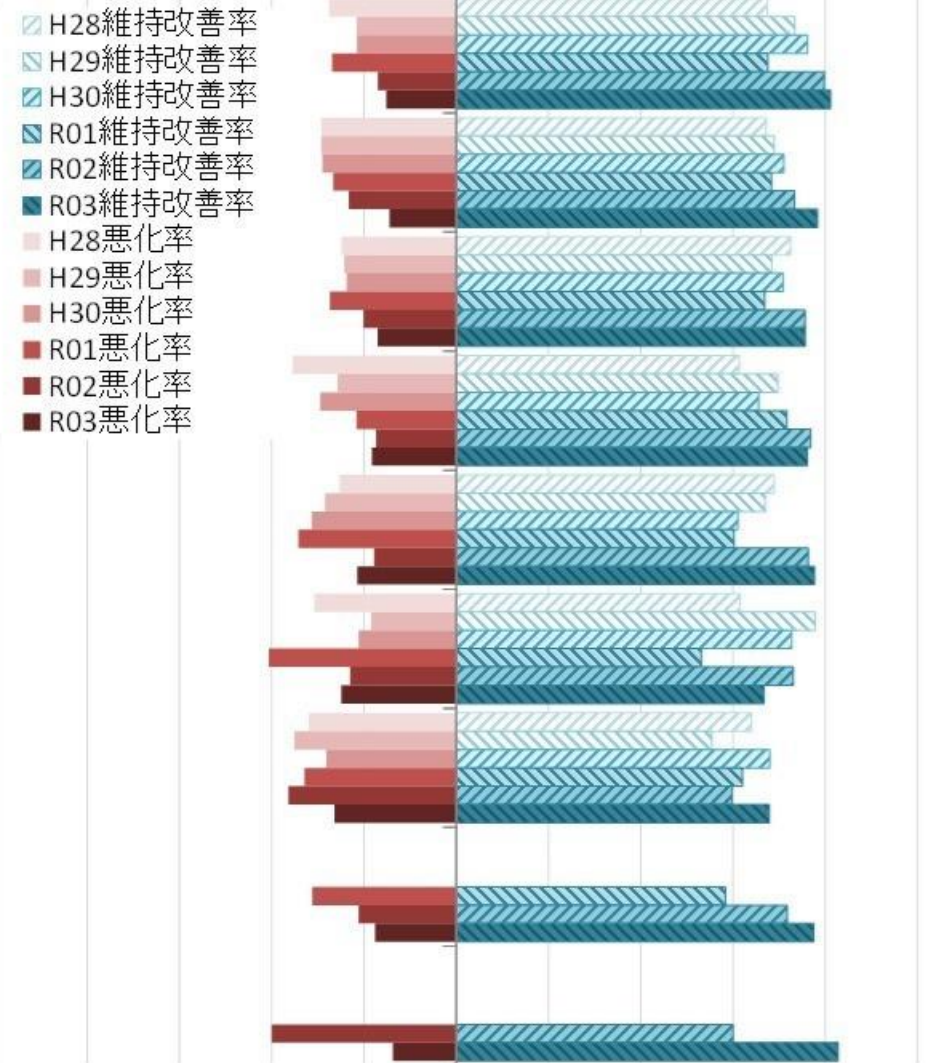
※経年比較のため、維持改善率および悪化率については、認定期間の長さを考慮した補正をしている。

# 居宅介護支援・介護予防支援 事業所別 介護度変化 (経年推移)

100% 80% 60% 40% 20% 0% 20% 40% 60% 80% 100%

◎6ヶ年度とも  
平均を上回る事業所  
↓  
1ヶ所

▲6ヶ年度とも  
平均を下回る事業所  
↓  
1ヶ所



◎ 分析対象期間全年度において平均を上回る事業所、▲ 分析対象期間全年度において平均を下回る事業所  
 ※各事業所ごとに、年度内6ヶ月以上利用者について、維持改善率を集計。  
 年度内に集計対象となる利用者数が**20人未満**となる場合は、グラフ上で表示していない。

# 通所介護 事業所別 介護度変化 (経年推移)

100% 80% 60% 40% 20% 0% 20% 40% 60% 80% 100%

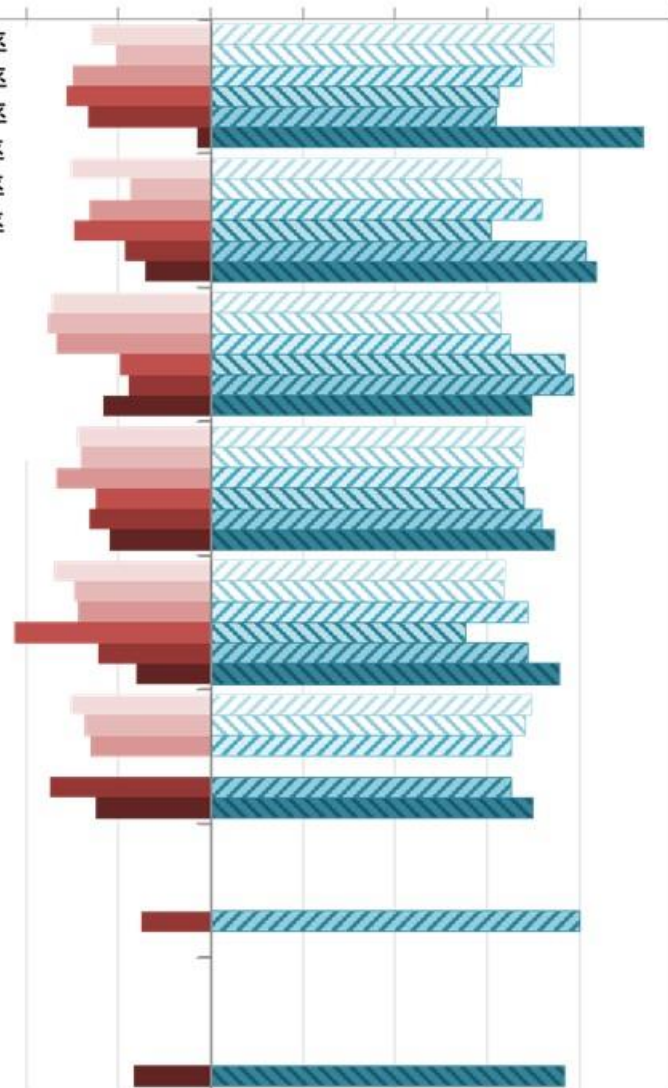
◎6ヶ年度とも  
平均を上回る事業所

↓  
0ヶ所

▲6ヶ年度とも  
平均を下回る事業所

↓  
0ヶ所

- ▨ H28維持改善率
- ▨ H29維持改善率
- ▨ H30維持改善率
- ▨ R01維持改善率
- ▨ R02維持改善率
- ▨ R03維持改善率
- H28悪化率
- H29悪化率
- H30悪化率
- R01悪化率
- R02悪化率
- R03悪化率



◎ 分析対象期間全年度において平均を上回る事業所、▲ 分析対象期間全年度において平均を下回る事業所  
 ※各事業所ごとに、年度内6ヶ月以上利用者について、維持改善率を集計。  
 年度内に集計対象となる利用者が**20人未満**となる場合は、グラフ上で表示していない。

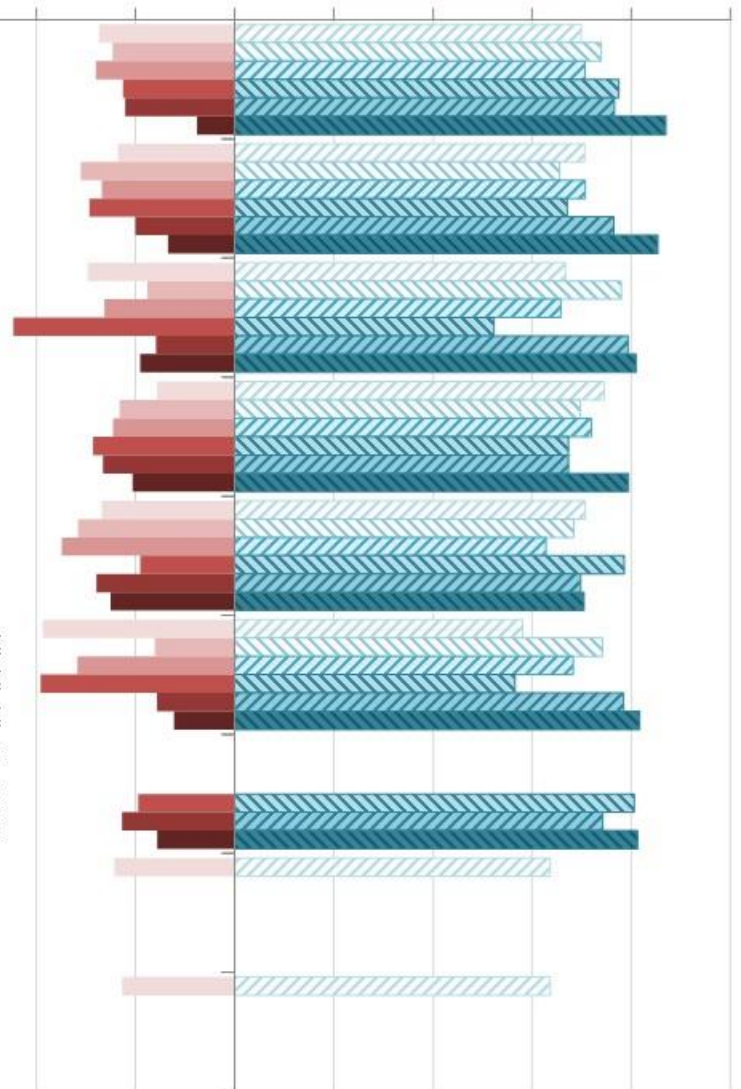
# 通所リハビリ 事業所別 介護度変化 (経年推移)

100% 80% 60% 40% 20% 0% 20% 40% 60% 80% 100%

◎6ヶ年度とも  
平均を上回る事業所  
↓  
1ヶ所

▲6ヶ年度とも  
平均を下回る事業所  
↓  
0ヶ所

- ◻ H28維持改善率
- ◻ H29維持改善率
- ◻ H30維持改善率
- ◻ R01維持改善率
- ◻ R02維持改善率
- ◻ R03維持改善率
- ◻ H28悪化率
- ◻ H29悪化率
- ◻ H30悪化率
- ◻ R01悪化率
- ◻ R02悪化率
- ◻ R03悪化率



◎ 分析対象期間全年度において平均を上回る事業所、▲ 分析対象期間全年度において平均を下回る事業所  
 ※各事業所ごとに、年度内6ヶ月以上利用者について、維持改善率を集計。  
 年度内に集計対象となる利用者数が**20人未満**となる場合は、グラフ上で表示していない。